

(平成26年8月5日受付)

子どもたちへの施策展開と若者を呼び込む施策について

■内容

約1年前に京都府宇治市から田辺市に戻ってきましたが、田辺駅前のさびれぶりには驚きました。将来、50年後には、町がなくなる恐怖感をいただきました。

この際、思いきって若年層を呼び込む税の優遇策とか若手女性の子どもたちへの施策等、もっと積極的に施策の展開をするべきだと思います。

また、扇ヶ浜等素晴らしい所もあります。何とか生かして若手を呼び込むことを考えてほしいと切望しています。

■回答

本市では、地域における子どもや子育てを支援するため、第三子から保育料無料化や小学校低学年児童に対する放課後児童健全育成事業など、多岐にわたる事業に取り組んでいるところです。

しかしながら、少子高齢化や人口減少に歯止めがかからない状況にあり、今後、子ども・子育て施策の更なる充実に向けた取組が必要であると考えています。人口減少が進むということは、今後の担い手が減っていくということであり、この人口減少のカーブをいかに緩めていくかが、今後の課題となっている中、交流人口を増大させることは可能だと考えています。

人に来てもらうためには、地域の魅力というのが必要です。本市には、扇ヶ浜や世界遺産に登録された熊野古道、自然の恩恵を受けた温泉郷など数多くの地域資源が点在しており、これらを市外や全国にPRすることで、若者をはじめとする、より多くの方に本市を訪れてもらいたいと考えています。

現在、本市では、全国から選択されるまちを目指して、市の価値を高めるための施策に取り組んでいるところであり、本年4月には、全国でも珍しい「たなべ営業室」という部署を設け、本市の魅力を知ってもらい、その良さをきちんと伝えていくこととしています。これらについては、たなべ営業室だけでなく、市職員全体において、営業を展開する意識を持ちながら取り組んでいくことにより、多くの方々を本市に呼び込んでいきたいと考えていますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

【企画広報課】